

# —岡山市との協働事業としてのホームレス支援—

特定非営利活動法人岡山・ホームレス支援きずな 豊田 佳菜枝

2002年冬、寒さの中野宿生活余儀なくされているホームレスのいのちを支えようとする牧師が、仲間呼びかけ「岡山・野宿生活者の冬を支える会」を作った。当初は、冬期のみ活動であったが、関わりが深くなるにつれ、家も仕事も友人も家族さえ失った彼らがもう一度社会へ戻りたいと声を出し始めたのである。食べ物だけ、生活用品の提供だけではもはや問題が解決できず、彼らが自立するためのシェルターが必要となった。しかし、岡山市に住むホームレスの数は、人口から考えればほんの僅かであり、行政の協力を得ることは難しいかに思われた。何度か懇談会を持ちながら、今協働できることは何かを考えた。その過程は信頼関係を生み出し、その中から炊き出し時に保健所による健康相談が実現した。

その後、リーマンショックによる派遣切り、雇い止め等により、失業者が全国的に増加し、大きな問題となった。その流れの中で、2009年岡山市はホームレス対策事業を行うことになり、私たちの団体が受託した。長年の夢が実現した瞬間であった。

2009年12月26日から3年間、岡山市と協働でホームレス自立支援施設を運営している。現在、野宿をしているホームレスの数は減少しているが、車上生活者、ネットカフェ難民等不安定な居住環境にあるホームレス予備軍と呼ばれる人々はかなりの数が存在すると考えられる。また、家族の崩壊が進み、知的、精神、発達障害を持つ人々が社会に適応できずに、ホームレスになるケースも増えている。事業開始時以来、ホームレスの状況は変化しており、支援対象者は増加している。当事者の抱えた問題は、単純ではなく自立への道は困難を極める。到底自分たちの力だけで支援することは不可能であり、お互いに問題を共有し合い、当事者にとって最も適切な支援を考えていこうとするパートナーが行政であり、様々な支援団体である。最初から協働事業だったのではない、よりよいものにしていこうとする両者の思いが協働事業にしていったのだと思う。

## 特定非営利活動法人岡山・ホームレス支援きずなの活動概要

### 2002年12月～

岡山・野宿生活者の冬を支える会 発足

12月～3月 月に2回、カレー、コーヒーのサービス、衣類、毛布、日用品、家庭用常備薬、風呂券の提供を行う。時には、緊急を要する野宿者の入院支援も行う。

### 2005年～

一年を通して彼らを支える活動をしていきたいとの思いから、「岡山・野宿生活者を支える会」と名称を改め、月2回の通年の活動を開始した。

### 2006年～

毎週および年末年始1週間の活動を行う。

「相談部」の開設、相談方針を設け生活相談を受けるようになる。

### 2007年3月～

「火曜の会」始まる。週一度野宿生活者、自立者、ボランティアが集い話し合いの時を持つ。

「人生哲学教室」始まる。週一度、自立者、アルコール依存症を持った方が集う。

### 2008年～

行政との協働により、健康相談を行う。

生活保護受給支援だけでなく、行政を始め、各専門分野の方々との連携によって総合的な自立支援を行えるような仕組み作りを模索する。

### 2009年～

野宿生活者が多様になり、支援の方法が複雑になったため、さまざまな団体とのネットワークの中で、1人でも多くの方々が自立できる体制作りを模索する。

12月26日より岡山市の委託事業を受け、主に就労に向けた自立支援施設運営を開始する。

### 2010年～

済生会病院の協力により、月1回の健康相談を行うことができるようになった。

NPO法人格取得に向けて準備を開始する。

独立行政法人福祉医療機構から助成金を受け、私たちの拠点となる「奏」を借り上げる。

### 2011年～

炊き出し、火曜の会を「奏」で行う。洗濯、入浴のサービスを始める。

木曜クッキング(1回/月)を行なう。

2011年12月27日NPO法人格取得。

### 2012年～

週1回の夜回り開始(岡山駅東口)

「偲ぶ会(亡くなった当事者を年に一度思い起こす。)」を行なう。

奏ででの活動に参加できない高齢者を対象に月1回大元付近で「どうしてる会」を行なう。

自立準備ホームを運営する。

## 〈きずなの主な活動〉

- ★炊き出し(毎週日曜日)
- ★夜回り(毎週木曜日)
- ★日中巡回(随時)
- ★定期的訪問(必要に応じて)主に自立した高齢者を訪問。
- ★年金相談(2,3回/1年)
- ★法律相談(6回/1年)
- ★健康相談(1回/毎月)



- ★歯科相談（1回/毎月）
- ★ボランティア活動（1回/毎月）
- ★火曜の会（毎週火曜日）
- ★木曜クッキング（1回/毎月）
- ★どうしてる会（1回/毎月）
- ★偲ぶ会（1回/毎年）



## 〈岡山市との協働事業〉

### ホームレス自立支援施設ひびきの運営

仕事、住まいを失った人たちの就労支援・緊急一時保護を行う。

定員： 就労支援 12名 ショートステイ 4名程度

支援期間： 就労支援 3ヶ月(原則)  
 ショートステイ 1週間(原則)

場所： 大元周辺

施設： 民間アパート 11室借上げ

### 就労による経済的な自立のための支援

#### 朝夕のミーティング

心身の健康を維持し、日常生活を維持するための支援

生活習慣の見直し、ボランティア活動、朝の散歩  
人間関係を作り、社会とつながるための支援

食事会、ボランティア活動、地域の清掃

